

日本中央競馬会（JRA）畜産振興事業 シンポジウム
東北から発信する牛伝染性リンパ腫清浄化対策の最前線
～あと一步、地域で取り組む清浄化対策～

日 時：令和7年2月28日（金）13時～17時30分（受付12時開始）
場 所：仙台国際センター 会議棟 3階白樫一体（〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地）
参 加 費：無料
情報交換会：シンポジウム終了後17時45分より、シンポジウム会場近くの会議室で行います。
参加される方は事前登録をお願いします。（会費：5000円程度）
申 込 方 法：以下の申込フォームまたは別紙申込書に記載の上、メールにてお申し込みください。
申込フォーム：<https://forms.gle/hRBRyx8bhnD735BX7>
申 込 書：FAMS ホームページからダウンロードをお願いします。
<http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/~fams/>



申 込 締 切：令和7年2月14日（金）
そ の 他：本シンポジウムは、日本中央競馬会（JRA）畜産振興事業の助成により開催いたします。

【会場のご案内】

仙台国際センター 会議棟 3階 白樫一体（〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地）
交通アクセス <https://www.aobayama.jp/access/>



【プログラム】

1. 「JRA 畜産振興事業（地域BLV検査センターと感染子牛センターを組み合わせた総合型牛伝染性リンパ腫清浄化モデル開発事業）の概要」
13:00-13:15 岩手大学FAMS 村上 賢二 氏

2. 基調講演
「我が国が目指す牛伝染性リンパ腫の清浄化対策」（仮）
13:15-14:15 農林水産省 消費・安全局 動物衛生課
岩手大学FAMS 客員教授 岡村 行岳 氏
—休憩（10分）—

3. JRA 畜産振興事業「地域BLV検査センターと感染子牛センターを組み合わせた総合型牛伝染性リンパ腫清浄化モデル開発事業」の成果について
 - (1) 「地域BLV検査センターの設置と東北地区BLV浸潤状況調査」（仮）（1系）
14:25-15:25 宮城県農業共済組合 新井 偉典 氏
松田 敬一 氏
農研機構・動物衛生研究部門
近藤 園子 氏

 - (2) 「感染子牛センターと高度感染牛・感染子牛摘発・分離方式によるEBL清浄化対策の事例」（仮）（2系）
15:25-16:25 岩手大学FAMS 一條 俊浩 氏
岩手県農業共済組合 加藤 惇郎 氏
本多 英規 氏
株式会社あんばい牧場 安倍 水敏 氏

 - (3) 「牛MHC遺伝子型別に関する新しい手法の開発」（3系）（仮）
16:25-16:55 帝京科学大学 彦野 弘一 氏
岩手大学FAMS 村上 賢二 氏

4. パネルディスカッション 17:00-17:25
「地域から発信する経済損失を最小限にした牛伝染性リンパ腫清浄化対策の将来展望」（仮）

5. 閉会 17:25-17:30

主催：岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター（FAMS）

共催：NOSAI 東北家畜臨床研修センター、岩手大学農学部附属産業動物臨床・疾病制御教育研究センター（FCD）

－お問合せ先－

動物医学食品安全教育研究センター(FAMS) 事務局 (岩手大学農学部地域連携推進室内)

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目 18-8

TEL : 019-621-6108 MAIL : fams@iwate-u.ac.jp